



報道関係各位

デジタル・エンターテインメント・グループ・ジャパン

2012年2月15日

「第4回 DEG ジャパン・アワード / ブルーレイ™大賞」 グランプリ、各部門賞の受賞作品が決定

『山猫』がグランプリを受賞
ユーザー大賞は、『トランスフォーマー／ダークサイド・ムーン
ブルーレイ+DVDセット』に決定

映像コンテンツメーカーや映像機器メーカーが加盟する次世代デジタルエンターテインメントの普及団体「デジタル・エンターテインメント・グループ・ジャパン」（会長：塚越 隆行、以下 DEG ジャパン）は、同団体が主催する「第4回 DEG ジャパン・アワード / ブルーレイ大賞」の授賞式を行い、受賞作品を発表しました。

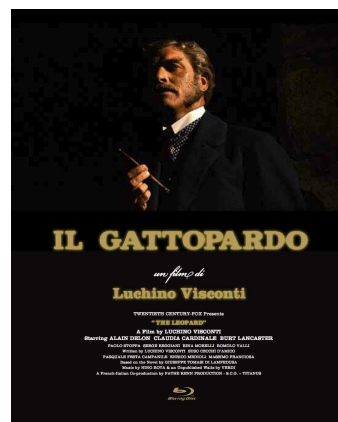
「DEG ジャパン・アワード/ブルーレイ大賞」とは、2011年に発売されたブルーレイソフトの中で、ブルーレイディスクの特長を最も活かした作品を表彰するアワードです。

第4回目の開催となる今回は、エントリーカテゴリーが1部門追加の9部門となり（ベスト高画質賞の映画部門を邦画と洋画とに細分化）、過去最多となる、のべ67作品に上るエントリーの中、ベストレストア/名作りバイバル部門賞の『山猫』がグランプリを獲得する結果となりました。

また、一般ブルーレイディスクユーザーの方からの投票のみで決定するユーザー大賞は、過去最多の投票数（4,921人。第3回は3,200人）の中、ユーザーから最多の支持を集めた『トランスフォーマー／ダークサイド・ムーン ブルーレイ+DVDセット』に決定いたしました。

なお、当アワードの審査委員長はAV評論家の麻倉怜士氏が、審査委員として同じくAV評論家の藤原陽祐氏や本田雅一氏、また映画及び映像ソフト専門誌の編集長、そして DEG ジャパン加盟機器メーカー代表がそれぞれ担当しています。

受賞作品は次ページをご参照ください。



「第4回 DEG ジャパン・アワード
ブルーレイ大賞」
グランプリ作品：『山猫』

【第4回 DEG ジャパン・アワード/ブルーレイ大賞】受賞作品

賞	部門	受賞作品
グランプリ		山猫
ベスト Blu-ray 3D™賞		塔の上のラプンツェル
ベスト高画質賞	映画部門(洋画)	ハリー・ポッターと死の秘宝 PART1 DVD&ブルーレイ セット(3枚組)
	映画部門(邦画)	相棒 -劇場版II- 警視庁占拠! 特命係の一番長い夜
	ビデオ(TV・ドキュメンタリー・音楽)部門	Healing Islands OKINAWA3 ~沖縄本島~
	アニメ部門	カーズ 2
ベスト高音質賞	音楽部門	佐渡裕 指揮 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 武満徹: フロム・ミー・フローズ・ホワット・ユー・コール・タイム ショスタコーヴィチ: 交響曲第5番
	映像部門	バーレスク
ベストレストア/名作りバイバル賞		山猫
ベストインタラクティブティ賞		浜崎あゆみ/FIVE
審査員特別賞 (3作品)		ソーシャル・ネットワーク
		ヴェルディ: 歌劇《椿姫》英国ロイヤル・オペラ 2009
		スター・ウォーズ コンプリート・サーガ ブルーレイ BOX
ユーザー大賞		トランスフォーマー/ダークサイド・ムーン ブルーレイ+DVDセット

【第4回 DEG ジャパン・アワード/ブルーレイ™ 大賞】受賞作品・評価ポイント

【グランプリ】

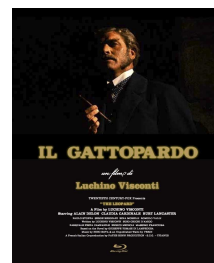
『山猫』

発売元: (株)IMAGICA TV

販売元: (株)紀伊國屋書店

評価ポイント:

グランプリとして文句なしの作品である。ヴィスコンティ監督のこの名作のオリジナルフィルムには、ここまで豊富な情報量があったのかと驚かされる。伯爵家の金色のカーテン、真紅の絨毯、古色蒼然の壁の色など、ヴィスコンティが追求した本物の邸宅の質感が、光輝くように迫って見える、深い映像表現力に感動を禁じ得ない。最近、昔見た名作をもう一度見直すユーザーが増えている。この作品のように、世界的な名作を徹底的にレストアし、大切に発売することは、ブルーレイディスクの今後の重要なミッションという意味も込めて、グランプリを与えたい。



【ベスト Blu-ray 3D™ 賞】

『塔の上のラプンツェル』

発売元・販売元:ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)

評価ポイント:

実に巧みに作られた3D作品映像。近景から遠景まで安定し、ここまで深い立体感が実現されたのは、史上初だ。有名なランタンシーンでは、徐々に増えるランタンが水に映りこみ、実物と反射の区別がつかない幻想的なイメージを醸し出している。背景ぼかしなどの効果で、視差が強くランタンが手前に浮き上がるのだが、疲れない。物語の叙述と感動の増幅に3Dを大変効果的に用いている。



【ベスト高画質賞 映画部門(洋画)】

『ハリー・ポッターと死の秘宝 PART1 DVD&ブルーレイ セット(3枚組)』

発売元・販売元:ワーナー エンターテイメント ジャパン(株)

評価ポイント:

シリーズがアカデミー賞撮影賞にノミネートされるなどその高画質には定評がある。本作品もその伝統を崩さず、実にハイクオリティな作品だ。暗部シーンでは階調の異なる黒を描き分け、明るいシーンでも飛びがちな肌の質感が自然に映し出されている。全体的にフィルムトーンを意識してテレシネを施しており、フィルム感をうまく残しつつ絶妙のバランスで作り込んでいる。



【ベスト高画質賞 映画部門(邦画)】

『相棒 -劇場版II- 警視庁占拠! 特命係の一番長い夜』

発売元:(株)テレビ朝日

販売元:ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントジャパン合同会社

評価ポイント:

解像度が高く、非常にメリハリの効いた映像である。しかし、そんなにもディテールが豊富なのだが、画面にはノイズが目立たないのが不思議である。実に丹念に作り込んだ跡が伺える。立体感も感じられ、登場人物の肌やメガネの汚れなど、細かい所まで質感が明確に確認でき、誰にでも高画質だと分かりやすい作品に仕上がっている。



【ベスト高画質賞(ビデオ・TV・ドキュメンタリー・音楽部門)】

『Healing Islands OKINAWA3 〜沖縄本島〜』

発売元・販売元:ビコム(株)

評価ポイント:

シーサーのディテール表現など見た瞬間、圧倒される。臨場感は群を抜いている。このシリーズは3年目のもので、カメラセッティングも格段に向上しており、フルハイビジョンのフォーマットを最大限に生かすこだわりが痛切に分かる。96kHz/24bit・非圧縮の音源を用いた音質も極めて良好。今後のエンターテイメントのあり方として、映像も音声もハイクオリティでなければならないという提案を大いに評価したい。



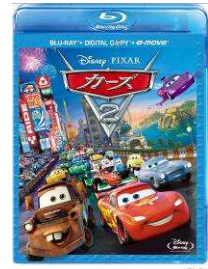
【ベスト高画質賞(アニメ部門)】

『カーズ2』

発売元・販売元:ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)

評価ポイント:

劇場で見た驚きをそのままパッケージにした作品だ。ディテールまできわめて丁寧に描写され、作品に込めたこだわりがダイレクトに伝わってくる。1台1台の車に新旧の質感を与えることで、それぞれの性格を見せるというテクニックは素晴らしい。ピクサー作品は世代を重ねるごとに表現力が向上している。メタリックなメッキや古ぼけた、さびた感じの金属調の質感の描き分けが見事の一言。アニメは階調飛びや疑似階調が出やすいものだが、本作品は非常になめらかだ。艶っぽい光、やわらかい光などライトによる質感表現が多彩である。



【ベスト高音質賞(音楽部門)】

『佐渡裕 指揮 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 武満徹:フロム・ミー・フローズ・ホワット・ユー・コール・タイム ショスタコーヴィチ:交響曲第5番』

発売元・販売元:(株)NHKエンタープライズ

評価ポイント:

96kHz/24bitの音は抜群。低音が雄大で同時に全帯域にわたり大変優れた解像力が特徴。ショスタコーヴィチ交響曲第5番第4楽章のフィナーレでは、弦の音が強く鳴り響く中、打楽器が強奏され、その迫力はただものではない。ホールの雰囲気も豊かに捉えられ、オンマイク収録の楽器の音とのバランスも好適。音の立ち上がりのスピード感が速く、奥行き感・臨場感に優れ、打楽器の音が体を抜けていくような気持ち良さが感じられた。



【ベスト高音質賞(映像部門)】

『バーレスク』

発売元・販売元:(株)ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

評価ポイント:

迫力ある歌声がホール全体に広がる空間感、進行感が巧みに捉えられている。主人公の歌声が観客の上に響く様が、まさにその場にいるように聴ける。ガヤと呼ばれる聴衆の雑音が雰囲気豊かに収録され、細かい音への配慮が積み重なり、リアルな空間感を形成している。歌声の地力も素晴らしい。



【ベストレストア/名作リバイバル賞】※旧作作品の画質・音質の修復を指す

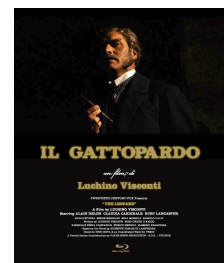
『山猫』

発売元:(株)IMAGICA TV

販売元:(株)紀伊國屋書店

評価ポイント:

これほどまでのレストアが実現されるとは、敬服に値する超高画質だ。最近の作品とは全く違う圧倒的な情報量を持っている。ヴィスコンティ監督はこれほどの色のインパクトが欲しかったのだと思わせる画の实在感が凄い。見た瞬間、圧倒的な肌の美しさ、解像度、空気感、色の階調感、質感の再現性に惹かれる。まるでスクリーンから発せられているような光の作りこみ。劇場公開時以上のクオリティと感動が自宅で得られる時代が来た。



【ベストインタラクティビティ賞】※高機能を指す

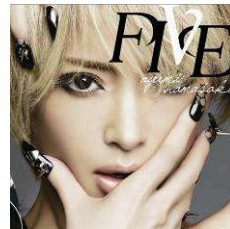
『浜崎あゆみ/FIVE』

発売元:エイベックス・エンタテインメント(株)

販売元:エイベックス・マーケティング(株)

評価ポイント:

ブルーレイディスクの特徴を駆使して、音楽メディアをリニューアルしようとするアイデアが卓抜。ユーザーとのインタラクティビティを上手に取り込んでおり、物理メディアだけにとらわれず、ネットワークとの連携、外部メモリメディアへの転送など多様なマルチメディアな仕掛けが施されている。ユーザーがワクワクする高機能がリモコンのカラーボタンで簡単に操作できる。音楽ビジネスの拡大を図るこの「BDM」を高く評価したい。



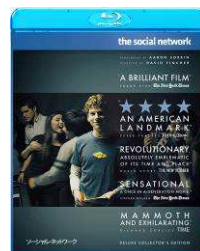
【審査員特別賞】(3 作品)

『ソーシャル・ネットワーク 』

発売元・販売元:(株)ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

評価ポイント:

暗いシーンにありがちなノイズが全く認識できない。非常に階調性が良い。従来のほとんどのコンテンツはHDのフルバンドを使いきれしていないが、本作品は最大限にHDの情報量を引き出し、周波数特性の偏りがなく解像度的にも大変優れている。絵づくりの新たなトレンドにつながる作品である。



『ヴェルディ: 歌劇《椿姫》英国ロイヤル・オペラ 2009』

発売元・販売元:日本コロムビア(株)

評価ポイント:

音響的に素晴らしい。オーケストラの音がピットからリアルに浮かび上がるリアリティは他に類のないもの。ステージ上の深く美しい歌声だけではなく、オーケストラの音の繊細な残響感も伝わってくる。海外オペラ作品で国内版として初めて日本語字幕で収録されている。制作関係者の努力と決意を高く評価したい。海外の優れたオペラ作品の国内版の拡大に期待したい。



『スター・ウォーズ コンプリート・サーガ ブルーレイ BOX』

発売元・販売元:20 世紀フォックス ホーム エンターテイメント ジャパン (株)

評価ポイント:

シリーズ 6 作品それぞれに見所がある。1977 年の「エピソード 4」が、驚嘆する高いレベルでレストアされている。「エピソード 6」のサラウンドも迫力満点。「エピソード 3」の最新でクリアなデジタル映像も素晴らしい。6 作品を続けて鑑賞すればブルーレイディスクの可能性が非常に広がっていることを様々なシーンで体験できる。ファン待望のブルーレイ化であり、その期待に見事に応えた点も高く評価できる。



【ユーザー大賞】※

『トランスフォーマー/ダークサイド・ムーン ブルーレイ+DVDセット』

発売元・販売元:パラマウント ジャパン(株)

評価ポイント(WEB 投票に寄せられたユーザーからのコメント):



世界中で愛されるアニメーションが元であるだけに、ファンから求められるものは高かったと思う。しかし3作目となった今回は、前2作より圧倒的にリアルな追求がされた作品となった。多様な角度から撮影された映像はCGと現実を曖昧にさせ、まるで本当にそこにトランスフォーマーたちがいるようだった。車に変形する瞬間の美しさ、崩壊したシカゴの街、迫りくる惑星、最早CGはリアルを超えて私たちに感動を与えてくれる。

※「ユーザー大賞」とは、一般ブルーレイディスクユーザーの方からの最高投票獲得作品です。今年、4,921名からの投票があり、一般ユーザーの間でもより一層の盛り上がりを見せました。一般ユーザーから寄せられた生の声を反映させた、まさに大賞にふさわしい作品が選ばれました。

「第4回 DEG ジャパン・アワード / ブルーレイ™大賞」概要

主催：デジタル・エンターテインメント・グループ・ジャパン (DEG ジャパン)

1. 審査委員

審査委員長

麻倉 怜士 (AV 評論家)

審査委員

本田 雅一 (AV 評論家)

藤原 陽祐 (AV 評論家)

明智 恵子 (株式会社キネマ旬報社 キネマ旬報 編集長)

米崎 明宏 (株式会社近代映画社 スクリーン 編集長)

長谷川 暢紀 (株式会社エンターブレイン DVD&ブルーレイで一た 編集長代理)

千葉 栄 (株式会社日之出出版 DVD&ブルーレイ VISION 編集長)

泉 哲也 (株式会社ステレオサウンド HiVi 編集長)

岡 政人 (ぴあ映画生活 編集長)

吉岡 広統 (日経エンタテインメント！ 編集長)

社団法人日本オーディオ協会

DEG ジャパン 機器メーカー会員

(順不同、敬称略)

2. ノミネート対象商品

2011年1月1日～12月31日の間に国内で発売・販売されたブルーレイ作品

※一般作に限る

【DEG ジャパンについて】

デジタル・エンターテインメント・グループ・ジャパン (DEG ジャパン) は、次世代のデジタルエンターテインメント市場のさらなる成長を目的に、映像コンテンツメーカーや映像機器メーカーが一体となって活動を行う業界団体です。2008年6月に発足し、2012年2月現在計38社が加盟しています。DEG ジャパンの活動の詳細並びに最新のブルーレイソフト情報については、<http://www.deg-japan.jp/> でご覧いただけます。

本件に関するお問い合わせ先

DEGジャパン広報事務局

(株式会社プラップジャパン 内)

担当：務台(むたい)・飛驒・柏木

Tel: 03-4580-9105、E-mail: DEG@ml.prap.co.jp